

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域のひみつを見つけよう（地域の産業・特産品・安全な暮らしを守る仕事・昔の道具など）》
- 2 単元名 『井原デニムのひみつ』（全20時間=実施時期：5月～2月）
- 3 単元のねらい \*本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

ワタの種まきや世話，収穫などデニムの原料となるワタを育てる活動や，デニム生地を使ったものづくり，見学などを通して，井原の特色ある産業であるデニム作りについて知り，地域のよさを考えることができる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
<b>主な活動</b>		社会科で井原の主な産業について調べ、井原デニムを取り上げる。デニムの原料となるワタを植える。	情報機器やゲストティーチャーを活用して、ワタを育てる方法やデニムになるまでの過程について調べる。	調べたことや分かったことをタブレットを使ってまとめる。	タブレットを使ってまとめたものを発表する。
<b>引き出したい姿</b>	<b>いばら愛</b> <small>(郷土愛と当事者性)</small>	自分たちの身の回りにデニム製品が多いことに気づき、井原市とデニム製品の関係に興味をもつことができる。	井原市でデニムに関する事業や取組がどの程度行われているか、インターネットや聞き取りなどを通して進んで調べようとする。		
	<b>やり抜く力</b> <small>(忍耐と向上心)</small>		井原高等学校園芸科の生徒から、ワタがデニム製品になるまでの過程を聞くことで、自分たちの手世話を続け、収穫するまで育てようとする。		
	<b>まき込む力</b> <small>(発信と協働)</small>			自分たちの学びが相手に伝わるように、写真や動画を使って発表の仕方を工夫する。	ポスターや放送など、様々な伝達方法を工夫し、井原デニムのよさを発信することができる。
<b>仕掛け・工夫</b>	<b>もの</b>	入学時にもらったデニムバックやデニムストリートの様子を紹介し、デニム製品が多いことに気づく。	ワタの世話をし、収穫する。		
	<b>ひと</b>		ワタを育てる過程で困ったことがあれば、4年生や先生方に聞く。	異年齢学年に発表する。	井原デニムのよさを発信することができる。
	<b>しごと（こと）</b>		デニムホテルやデニムショップを訪問し、話を聞く。		
<b>アウトプットの工夫</b>					

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「わたしたちの暮らしとまちではたらく人々」  
理科「植物の成長」 国語科「すがたをかえる大豆」

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

ワタの育成に関して、井原高等学校園芸科の生徒と交流する。

◆単元のねらい「●●●●」

課題設定



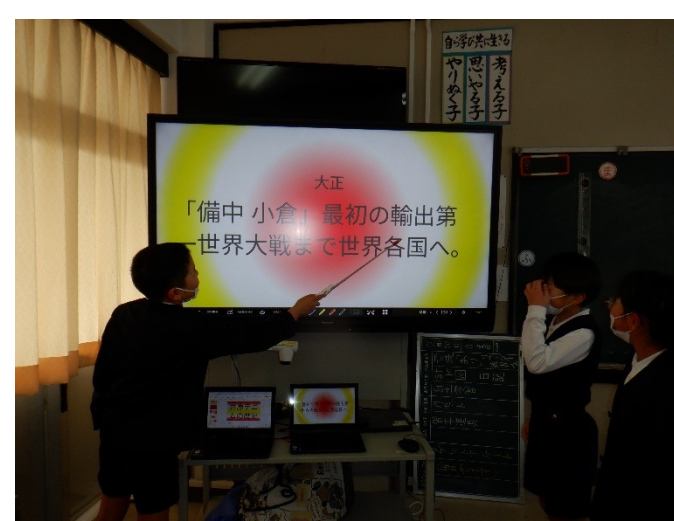
情報収集



整理・分析



まとめ・表現



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 体験学習・デニムショップやデニムホテルなどの見学等を通して、児童が意欲をもって学習に取り組んだ。
- △ 発信の方法を多様化し、児童が自分たちで決められるような選択肢の幅を広げる。
- ☆外部とのつながりをもう少し早めに設定して、計画的に学習を進める。